

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(10月19日から10月25日回答分)

	症例数	手術	
陽性患者	1	開腹術	1

COVID-19疑い患者	1	腹腔鏡手術(延期)	1
--------------	---	-----------	---

事前シミュレーション実施	あり	0
	なし	0
	記載なし	2

手術室で気管挿管	1	McGrath	1
(喉頭展開1回で挿管)	(1)	AWS	0

PPE	フェイスシールド	1
	ゴーグル	0
	シールド付きマスク	0
	記載なし	0
	N95	1
	PAPR(動力付き)	0
	手袋2枚	1
	手袋1枚	0

自由記載

陽性	試験開腹	使用する可能性の高い薬剤はあらかじめビニール袋に小分けし、使用の場合のみ袋から出した。挿管チューブ固定用テープ等はシルキーテックスを切って余分に準備、使用しうるシリンジ等も直ぐに使えるように余分に準備することで、未使用品の曝露を極力避けるようにした。 夜中の緊急手術であったため、入室までの間に担当看護師と打ち合わせをすることで比較的スムーズに対応できた。
----	------	---

疑い	腹腔鏡手術	当院では定時手術のcovid19スクリーニングとして2週間の健康観察と2回の抗体検査を行なっている。(PCR検査を全例施行出来ないため) 抗体検査で陽性が確認されPCR検査を施行したが陰性であった。感染時期が不明なため、抗体検査陽性日から1か月予定手術を延期し、再度PCR検査を行い陰性であれば手術を行う予定である。
----	-------	---